



長野県立大へ「子育てクエスト」を寄贈

7月18日、山岸代表理事から長野県立大で保育を学ぶ4年生に漫画本「子育てクエスト」が贈られました。子ども学科の代表3名に手渡すと、さっそくページをめくり感嘆の声が聞こえてきました。受け取った学生さんに感想を伺いました。

●実習や授業で学ぶ他に、こうした漫画からも学べるという選択肢が一つ増えたように思います。漫画なら親しみやすさも、楽しく学べそうです。

●保育にはなく新しい印象で、参考書のような勉強っぽさがなく手軽に手に取れそうです。

●よくある文字が多めの子育ての本かと思っていたら、かわいい絵でストーリー性もあって読みやすそうです。漫画を読むような感覚で読めそうですね。スムーズに学べそうです。



●子育てクエストとは…

子育てクエストWebメディアで連載中の新感覚RPG風子育て情報漫画です。笑いあり共感あり感動ありのストーリー仕立てとなっております。子育てのヒントが盛りだくさんで楽しく学べます。



2023年秋号

発行元：みらいく
信州子育てみらいネット
広報担当

小布施町より木製おもちゃのご寄贈

8月22日、小布施町長をはじめ町職員の方々がみらいく小布施に来訪され、木製おもちゃをご寄贈いただきました。町長は子どもたちの前で段ボールを開封し、その場に座って子どもたちの視線に合わせながらおもちゃをお見せになりました。はじめは少し緊張していた子どもたちも、新しいおもちゃを見ると目を輝かせて町長の周りに集まり、しばらく一緒に遊んでももらいました。木のおもちゃに夢中の子どもたちの様子をご覧ください。町長は、「気に入ってくれて良かったです」とお話になりました。



地域交流



中野みらいく保育園 お年寄りの方々と交流

7月、中野みらいく保育園では初めての試みとして、近くの公民館で地域の方々と交流会に参加しました。副主任の帯刀先生に詳しくお話を伺いました。

●きっかけは…

民生委員の方から「近くの公民館で毎月お年寄りが集まる機会があるんだけど、良かったら保育園のお友だちと交流会をしてみませんか」とお声がけをいただき、試しに保育士だけで見学させていただきました。コロナもありましたが、時代の流れとして知らない人と交流する機会がなかなか無い中、せっかとお声がけいただいたのでぜひ一回やってみようということになりました。当日まで何度か民生委員の方と打ち合わせをし、子どもたちがお年寄りと一緒にできることや交流会の流れを考えました。

●当日の様子…

お昼寝が終わってから1、2歳児を連れて公民館にお伺いしました。保育園で出しているおやつと全く同じおせんべいをご用意してもらって、食べ終わった後に一緒にお絵かきをしました。子どもたちはいつもと違う場所でおやつを食べたことが本当に印象に残ったようで、数日経ってもお話ししてくれる子もいて、良い経験になったのかなと感じています。お年寄りの方々には子どもたちが遊びに行くことをサプライズにされていたようで、驚かれつつも「関わる機会ないからね」と喜んで迎え入れてくださいました。お絵描きではいくつかがグループを作ってお年寄りも子どもも混ざってグループごとに大きな模造紙にお絵描きを楽しみました。帰りには子どもたちからタッチをしてお別れができました。

今回は子どもたちにも良い刺激になり大変良い機会をいただけたと感じました。今後も地域交流会が定着して子どもたちが楽しみにしてくれるような行事になったらいいなと思っています。



行事紹介

七夕

★穂高みらいく保育園

計画担当 小平先生

まずは絵本を読んで簡単に七夕を説明して、「織姫と彦星が会えるようにみんなが天の川を作って流してみよう」と子どもたちに話しました。その後園庭に出て本物の竹とペットボトルで作ったスライダーに水を流して天の川に見立て、毛糸のそうめんやペットボトルのキャップ金魚などを流して遊びました。

子どもたちは天の川スライダーにいろいろな流し夢中になって楽しんでくれました。流すことがとても楽しかったようで、中でも毛糸そうめんが人気でタライまで流れたらまた拾って集めて流すのを繰り返して、みんな真剣に遊んでいました。今回は七夕を知って七夕の雰囲気を感じてみようという程度のねらいでしたが、給食の先生から本物の笹をいただいたことで七夕飾りや短冊を飾って本格的な雰囲気味わえたり、スライダーは竹素材の方が流れが良いことに気が付いたりなど、子どもたちもたくさん体験できて行事を楽しんでもらうことができましたかなと感じています。





みらいく高田

計画担当 松井先生

当日は園庭での開催予定で準備を進め、順調に夏まつりが始められたのですが、予想外に天気が急変してしまっただけで急遽お部屋の中の開催となりました。

多くの子どもたちが甚平や浴衣に着替えてきてくれて、お祭り気分をさらに盛り上げてくれました。とくにこちらから何かお願いしたわけではなかったのに、積極的に楽しんでくれていたことが直に感じられてとても嬉しかったです。また、普段の園生活では見られない一面や、保護者の方に甘えている姿なども見るのができて良かったです。今回は久しぶりに親子参加の全体行事が開催でき、保護者さん同士の交流や卒園児さんの元気な様子も伺え、とても良い交流の場になったのかなと感じています。来年に活かすためアンケートも実施したところ本当に楽しかったという意見をたくさんいただきましたので、更に楽しんでもらえる行事にしていきたいです。



みらいく県町

計画担当 小林先生

行事紹介

夏まつり



ようやく園全体で行事ができるようになり、今年の夏まつりはとてもぎやかなお祭りの雰囲気を楽しんでもらうことができました。

今回は子どもたちの好きな絵本をテーマにゲームコーナーを考え、絵本をテーマにした子どもたちの製作物を飾りました。子どもたちみんなが夏まつりがはじまる前から雰囲気味わっていて、当日が終わるまでずっと楽しんでくれていた様子が見られて良かったです。保護者さんが来て嬉しくて気分が高揚している子どももいれば、緊張して固まっている子どももいましたが、夏まつりならではのヨーヨー釣りなどが刺激になってみんな楽しんで参加している姿が見られました。県町はスペースが限られていますがこうした貴重な保護者参加イベントで親子関係を見るのができてとても嬉しく思っています。今回得られた気づきや、子どもの発達に合わせた楽しめる内容を取り入れまた来年に活かしていきたいです。



中野みらいく保育園

計画担当 小林先生

行事紹介

七夕



まずは子どもたちに七夕について知ってもらった後、マグネットシスターを使ってキャラクターを動かして子どもたちに製作で作った七夕飾りで飾り付けをしてもらいました。

子どもたちにとってはまだ物語の内容が難しく工夫して伝えることが大変でしたが、真剣に見てくれていました。笹は立てられないほど想定サイズのよりもたいぶ大きく、珍しかったのか子どもたちは「わあー」と喜んで、触ったり眺めたり「大きいねー」と盛り上がりつつありました。自分たちで七夕飾りを付ける時も保育士と一緒に楽しんでやってくれました。今回は七夕の雰囲気も少しも知ってほしいという思いがあり、帰る時に笹を少し切ったものを渡すとみんな喜んで持ち帰ってくれたので、七夕を楽しんでくれたのかなと感じました。



みらいく県町

計画担当 和泉先生

当日はまずパネルシアターで七夕の説明をし、子どもたちが作った七夕飾りを担任の先生に発表してもらいながら振り返りをしました。その飾りをみんなで見ながら本物の笹に飾り付けて、最後に七夕の歌を歌いました。

2歳児さんには七夕のパネルシアターを事前に一回見せていたこともあり、織姫さんと彦星さんが会う日だよとなんとなく理解してくれました。何か知っているキャラクターが出てくると「トリ」とか「うし」と言ってお話してくれる子どももいました。七夕飾りを飾り付ける時は一人ずつ順番にやってみましたが、子どもたちはみんな興味津々で見ている様子で、笹を触ったりガサガサと鳴る音を楽しんでいました。今回は七夕の雰囲気を味わってみんなでお祝いすることができればと思い計画しましたが、子どもたちが楽しんでくれた様子が見られて良かったです。



みらいく早苗町

計画担当 林部先生



今回は子どもたちが集中できるようになるべく短時間での行事にし、分かりやすい言葉で伝えるなど楽しめるように工夫しながら七夕会を行いました。まずは七夕について知ってもらうため大型の絵本を用意し、織姫と彦星の物語や短冊についてのお話、七夕に食べる食べ物などをゆくり紹介しました。子どもたちには少し難しい内容もありましたが、真剣に聞いている様子、「これ知ってる!」と絵本を指して教えてくれる子どももいました。絵本の後は子どもたちの短冊と七夕飾りの紹介をしました。一人ずつお願い事と作った七夕飾りを紹介していくこと、嬉しそうなお話や少し照れた様子の子もいました。それぞれ素敵なお願い事が書かれており、温かい気持ちになりました。みんなのお願い事が叶いますように。

当日はおやつや給食も七夕仕様だったので、一日中七夕の雰囲気を感じてもらえることができました。



穂高みらいく保育園

計画担当 柳沢先生



みらいく保育園

計画担当 金井先生

午中は園開放として夏まつりごっこをし、午後は夏まつり本番として急ピッチで準備をして保護者さんや卒園児さんを迎えました。午前中の屋台ごっこは保育士がお店屋さんになり、子どもたちが好きなところを回って楽しめました。その後練習していたやさしい音頭を踊って、午後に向けてさらに気分を盛り上げました。午後の夏まつりでは外にカキ氷とお菓子屋さん、ヨーヨーすくいを設置し、お部屋の中ではお面作りや輪投げなどのコーナーを用意しました。カキ氷は近くのスーパーから借りたので、お面作りは近所のスーパーでゲームコーナーを楽しく遊べるように準備しました。子どもたちが甘える姿や保護者さんに甘えたい様子や、今後はおもちつきなど地域の方と関わられるような行事にも挑戦してみたいと考えています。

穂高園では開園して初めての保護者参加イベントなので緊張しましたが、早めに準備を進め当日は5つのコーナーを用意して楽しんでもらうことができました。子どもたちは当日までは「夏まつり!」と楽しみにしていた様子でしたが、開会式からはじまる緊張しているのか少し表情が硬い子どもが多かったです。それでも保護者さんがいて安心したのか甘えている姿も見られ、屋台まわりのコーナーでは子どもたちが食べ物製作をしたので、「これ作ったんだよ」と嬉しそうに見せている様子もいました。閉会式ではみんな「ニコニコ」していたので、楽しんでくれて良かったです。今回行事担当をしてみて、打ち合わせや連携確認が少し足りなかったなど反省点もありますが、とても楽しい経験でした。また秋に向けて行事を計画しているので、子どもたちと楽しめるように頑張りたいと思います。



みらいく小布施

計画担当 北沢先生

はじめに手遊びと七夕まつり歌を歌って、各クラスの七夕飾りの発表をしました。最後にスランテープで作った天の川の順番にくりしました。

七夕クイズではイラストを用いて、「どっちが織姫様だと思う?」「笹はどっちかな?」と子どもたちが楽しめるように2択にしました。どのクラスの子どもイラストをじっくり見て、「こっち」と指差して楽しんでくれました。また正解発表をした時には合っているも間違っているも、「いいえ!」「やったー」と喜びの音が聞こえてきて可愛らしかったです。今回は七夕の雰囲気を味わいつつ、七夕の由来を乳児の子どもたちに分かりやすく楽しく知ってもらいたいという思いがあり、七夕クイズを考えました。子どもたちみんなが楽しんで参加している姿が見られて良かったです。

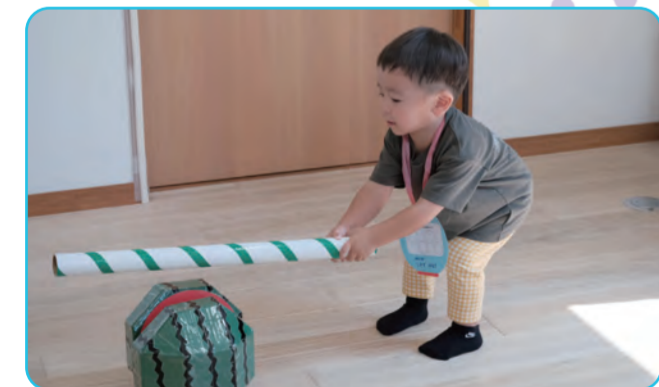


夜の保育園みらいく

計画担当 松木先生



今年の七夕祭りは、園の近くの商店街で開催されていた七夕飾りを見学することにしました。アーケードに飾られたきらびやかな七夕飾りを見た子どもたちは、「きれい!」「おおきいね!」と大歓声を上げていました。普段とは違う場所という刺激もあったのか、興味津々な様子で観察していました。七夕飾りを見たあとはスーパーに行き、給食で食べるカレーライスの材料のお買い物をしました。事前に自分で買いたい野菜などを選んでいたのでお店でもスムーズに進むことができました。一人一人買い物カートの絵と同じ野菜とお金を持って上手にお買い物をすることができました。来年は、見学するだけでなく夜の保育園として商店街の七夕飾りに参加したいと思っています。



中野みらいく保育園

計画担当 外谷先生



みらいく早苗町

計画担当 稲守先生

今年の夏まつりのテーマは「海」ということで、海にちなんだ装飾をしたりコーナーを作りました。3階の壁面飾りや魚釣りコーナーで使う魚など子どもたちの製作物をたくさん取り入れ、子どもたちと一緒に夏まつりを作り上げることができました。今年初めての保護者参加イベントでしたが、混雑することなく一つのコーナーをじっくり楽しんでくれたので良かったです。水族館では、お子さんの製作した作品を親子で一緒に探して楽しむ姿が見られました。魚釣りコーナーでは子どもたちも盛りに上がって遊んでいたのが印象的で、「釣れた!」「喜んで魚を見せてくれました。また、スタンブラーの景品や製作コーナーで作るうちわなど、お土産もたくさんあり喜んでもらうことができました。親子でじっくり楽しめる素敵な夏まつりとなりました。

今年は去年度の卒園児、転園児を呼んでの夏祭りというなるか心配でしたが、当日を迎えると夏祭りを楽しんでくれる子どもたちの姿がありとても安心しました。子どもたちは普段とは違う保育園の様子に最初は戸惑う姿も見られましたが、慣れてくるとゲームを楽しんでくれる様子が見られました。駄菓子屋さんでは自分でお金を払って商品を受け取ると、「自分で買ったの!」と嬉しそうに見せてくれてたかさんの笑顔を見ることが出来ました。また夏祭り前に体調を崩してしまった子どももいたので、普段の活動に夏祭りやゲームを取り入れたら、お迎えの際に駄菓子をもらえるようにしたりと来れなかった子どもも夏祭り気分を楽しめるよう工夫し、喜んでくれたので良かったです。来年度はまた違うゲーム等考え、より子どもたちに楽しんでもらえる行事にしたいと思っています。

行事紹介

夏まつり



夜の保育園みらいく

計画担当 川崎先生

今回は子どもたちに手作りのお金とお財布を配りお買い物ごっこ風に、プースを回るごとにお金を払うという今までは違う要素を取り入れました。また普段散歩に行くカエルやだんごむしに興味津々な子どもたちなので、その要素を取り入れたカエルつりやだんごむしピンボールなど、なるべくたくさんコーナーを用意しました。その後は皆でスイカ割りをして給食参観を行いました。

子どもたちは提灯や壁面などを一緒に製作をしていたこともあり、夏祭りを何日も前から楽しみにする姿がありました。当日はとてもにぎやかにしてみました。いつもと違う雰囲気戸惑う子もいましたが、いざ始まるとみんな楽しそうにプースを回っていました。毎年恒例のスイカ割りではみんなスイカに興味津々で、大きい子たちは力もありスイカを割ることができて大喜びでした。小さい子たちも大きな棒を一生懸命持ち楽しそうにスイカまでたどり着く姿が可愛かったです。給食参観では、お母さんと一緒に給食を食べることができて嬉しそうなお姿や甘える姿を見ることができました。保護者の方にも、普段の給食の様子や保育園の食事について見ていただけ良かったです。今年はお買い物ごっこをして遊ぶ姿があったので取り入れてみましたが、みんな喜んで楽しんでくれて安心しました。夏祭りが終わってからも、「楽しかったね」などと思いついてはお話をしてくれる子もいて嬉しかったです。



PICKUP!!



みらいく早苗町



生きもの飼育



少し暑くなってきた6月、みらいく早苗町からたくさんアゲハ蝶が巣立っていきました。みらいく早苗町では小さな卵から幼虫、さなぎ、成虫になるまで子どもたちと毎日観察をし、ナミアゲハの育成を行っていました。副主任の林部先生に詳しくお話を伺いました。

●きっかけは：



日頃から子どもたちには生きものと関わってほしいという思いがあるので、面白そうな虫を見つけたら園に持ってきていました。子どもたちと様々な生きものを育てて観察をしてきた中、たまたま自宅の柚子の木に卵を見つけて調べたところ、ナミアゲハになることが分かりました。園で育ててみようと思いい、昨年からの飼育を始めました。

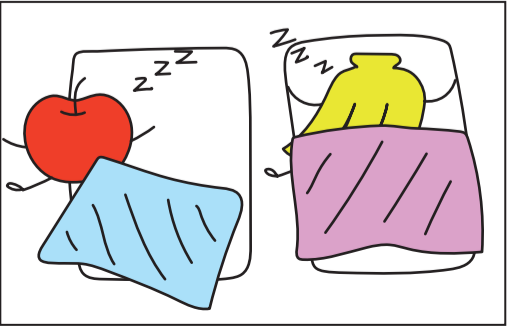
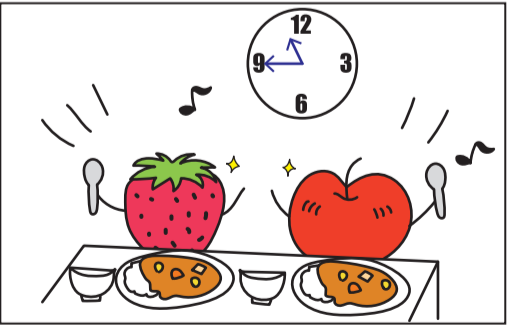
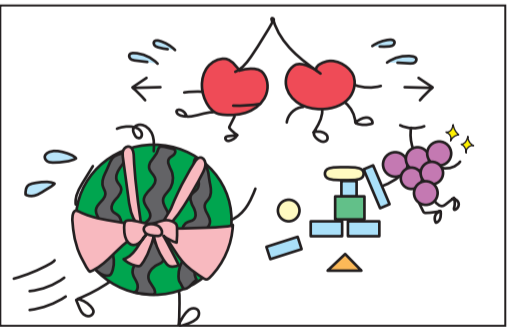
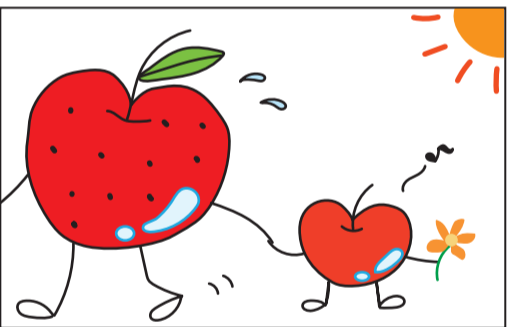
●生きものと触れ合う大切さ

子どもたちは卵から幼虫になると変化に気づき、柚子の葉をケースに入れるお手伝いをしながら飼育を楽しみ始めました。途中で幼虫が死んでしまったときは「土に埋めてくるね」と伝え、生死について知ってもらう機会にもなりました。さなぎから成虫になると大喜びで、ちょっと怖いけど見たい気持ちの方が強かったようです。窓を開けてお部屋の中から飛び立つようにしてみたところ、子どもたちのお腹や顔付近に飛んでしまう個体もいて少しパニックになりましたが、今年は30匹以上孵すことができました。去年から飼育経験している2歳児さんの中には「ほらおいで」と手に乗せてみる子もおり、良い経験をしてもらえて嬉しく思っています。



みらいくくだもの園

作: 広報担当 (総務グループ)



みらいく小布施

避難訓練



近年は防災・減災の言葉が広まり、みらいくでも各園で毎月必ず避難訓練を実施しています。今回はみらいく小布施の避難訓練を取材しました。

●副主任 北沢先生のお話

今回の訓練は「プールで水遊び中に震度5以上の大きめの地震が発生しその影響で火災も発生」という想定で行いました。避難の流れは、地震発生後保育士の近くへ子どもたちを集まってもらい、揺れがおさまってからプールを出て余震に備え、その間に他の保育士がタオルや靴などを集め避難の準備をします。その後火災が発生したので散歩車に子どもたちを乗せ、園舎から離れたところに避難をしました。

第一園舎、第二園舎と分かれているのでそれぞれの時間で訓練を行っています。緊急地震速報の音が怖くて泣いてしまう子もいましたが、抱っこや声掛けで落ち着かせ外に出るからは保育士のお話をしっかり聞いていました。防災頭巾を嫌がっていた子も、訓練を何回も繰り返すうちに慣れてきたようです。職員共通で意識しているのは子どもたちの安全第一と、避難時の置き去り防止のための人数確認を徹底して行うことです。



夜の保育園みらいく

保育研修の試み

みらいくでは夜の保育も経験してもらうため、正職員保育士を対象に年一回夜の保育園みらいくで勤務する試みを始めました。実際に行かれた先生に感想を伺いました。

●みらいく保育園 山崎先生



夜の時間帯の保育は初めてで、昼間の保育の雰囲気とはまた少し違うということを実感できました。薄暗くなってからの散歩や、お風呂などの作業も経験したことがなく新鮮な感覚で保育をさせていただきました。とくにお散歩に関しては、昼間と夜では気を付ける部分が変わるといえることを改めて学ぶことができました。普段自分の所属園では1歳児を担当していることもあり、私が研修させていた日は年齢が高い子が多く、言葉のやり取りがたくさんできたことも新鮮でした。

